



各 位

2023年5月12日

会 社 名 株式会社三ツ星
代 表 者 代表取締役社長 青木 邦博
(コード番号 5820 東証スタンダード)
問合せ先 経理部長 小川 直樹
電話番号 06-6261-8882

「中期経営計画」の策定に関するお知らせ

当社は、2023年5月12日開催の取締役会において、2024年3月期から2026年3月期までの3ヶ年を対象とする中期経営計画を決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画の概要

当社グループは、2016年3月期から2020年3月期は経営基盤の強化、2021年3月期から2023年3月期は4S（新）運動展開を実施してきました。2024年3月期から2026年3月期は持続的成長の確立のため、生産力の強化を図ると共に4S（新）運動の更なる強化を図ってまいります。

2. 経営戦略

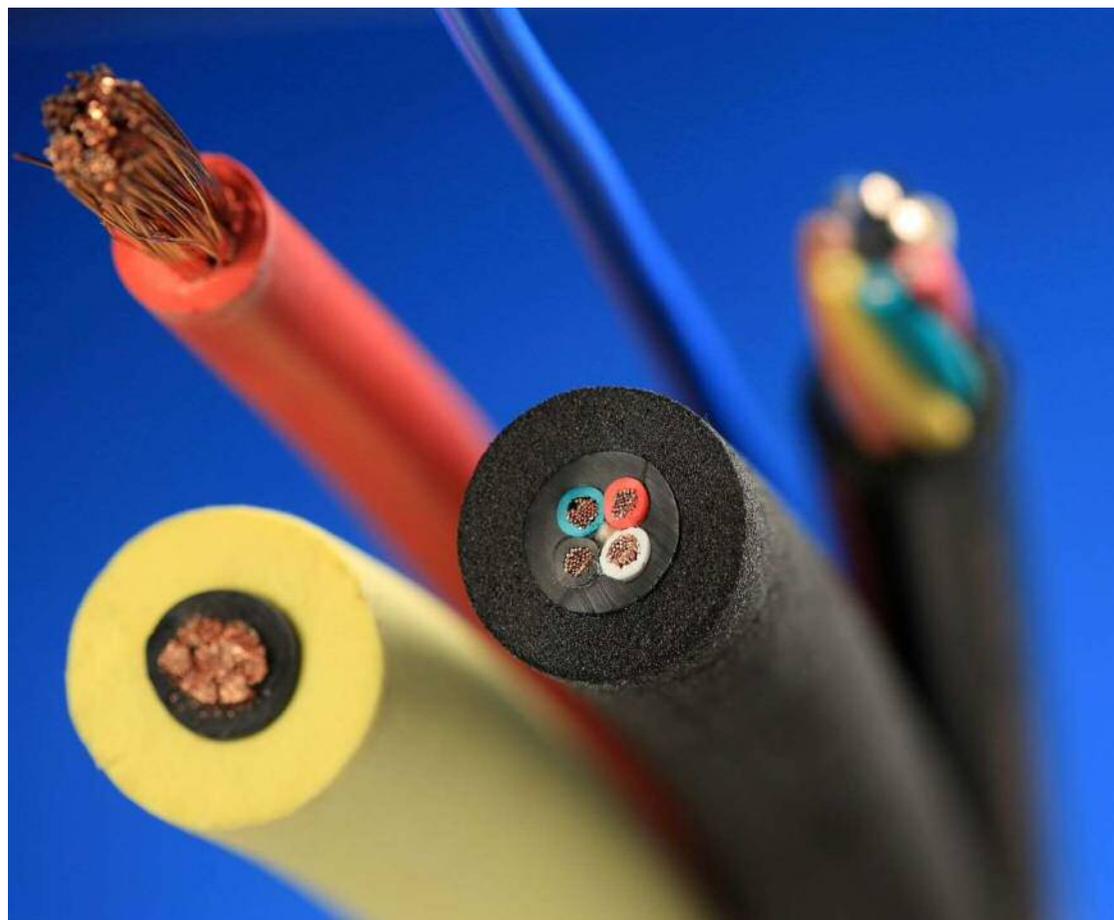
当社グループは、「環境・社会の変化に即応し、持続的な成長を実現する為、①新分野開拓（環境・社会の変化に即応）、②新製品創出（新しいニーズに呼応した技術開発）、③新顧客増強（常に顧客を拡充しネットワーク拡大）、④新グローバル戦略推進（新たな海外市場を開拓）以上の「4S（新）運動」を展開する。」を経営戦略としております。

3. 経営数値目標（連結）

中期経営計画の最終年度である2026年3月期経営目標数値としましては、連結売上高11,500百万円、連結経常利益350百万円、連結売上高経常利益率3%以上を達成目標としております。

(注) 本資料に記載されている計画、見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上



2024年3月期～2026年3月期

中期経営計画



2023年5月

1. 中期経営計画(1)～これまでの振り返り

16/3～20/3期 中期5カ年計画
Hop・Step!

経営の基盤強化

財務の安定

積極的な投資

資本効率向上

21/3～23/3期 中期3カ年計画
Jump!

4S(新)運動展開

- 新分野開拓
- 新製品創出
- 新顧客増強
- 新グローバル戦略推進

ポリマテック事業の黒字定着

MPC(国際部門)業績向上

シルバー鋼機業績向上

競争力のある製品開発力

24/3～26/3期 中期3カ年計画
持続的成長の確立

生産力の強化

- ・原材料・サプライチェーンの見直しによるコストダウン
- ・工場の生産性向上
- ・品質の保持

4S(新)運動の更なる強化
(グループの相乗効果)

- ・持続可能な成長の柱
- ・グローバル化
- ・競争力のある製品の投入

71～77期 設備投資約**21億円**

(技術開発センター・新情報システム・MPCゴム電線生産設備・シルバー鋼機新工場)

1. 中期経営計画(2) ~ 目指す姿(連結)

26年3月期

売上高	115億円
経常利益	350百万円
売上高経常利益率	3%以上

23年3月期

売上高	99億円
経常利益	204百万円
売上高経常利益率	2.1%

1. 中期経営計画(3) ~ 目指す姿(重点領域)

サステナビリティを重視した経営

東南アジア
・中国強化

グローバル展開

24/3~26/3期
中期3カ年計画

競争力のある製品の投入

フィリピン
中心

21/3~23/3期
中期3カ年計画

ESGを中核に据えた新分野展開
(持続可能な成長の柱を構築)

16/3~20/3期
中期5カ年計画

国内

既存分野
(建築工事・土木工事中心)

生産力の強化

新分野

1. 中期経営計画(4) ~ 目指す姿(成長の柱)

今後、拡大が見込まれる**5分野**と**グローバル化**を重視
(各分野に持続可能な成長の柱を建てていく)

持続可能な成長の柱

脱炭素の柱

脱炭素分野

防災・災害の柱

防災・災害分野

漁業・農業の柱

漁業・農業分野

ロボット(産業・工作機械)の柱

ロボット(産業・工作機械)分野

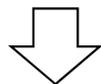
メンテナンスの柱

メンテナンス分野

2. 生産力の強化(1) ～ 品質の保持

これまでの取組

より一層の品質保持を図るため、20/3期から品質管理体制を見直し



1. 組織・体制整備(20/3期～)

- ・電線・ポリマ事業内の品質保証部を統合・独立・強化
- ・社長も参加し品質保証会議を運営
労働災害、自動車事故、苦情・クレーム
工程中異常、ヒヤリハット(安全衛生、品質管理関連)項目の管理を徹底

2. ガバナンス体制の強化

- ・ISO品質マネジメントの運営を強化
⇒手順書・作業標準等の見直し・運営を厳密に

今後のさらなる取組

1. 全社レベルでの『品質意識・知識』の向上

- ・製造・営業・技術各部門でのスキル底上げ
⇒習得体制整備(研修・資格取得等活用、OJT活性化)
- ・高齢化しているISO内部監査員の若手登用とレベルアップ

2. 日々の工程管理・製品検査の強化

- ・検査機械整備(旧設備の更新、効率化機器導入等)
- ・工程パトロールの更なる強化

3. 製造の事前段階でのリスク潰込み

- ・営業段階でのリスク回避
⇒顧客リスク、仕様書リスクのチェック徹底
- ・契約段階での法務的なリスク管理徹底

2. 生産力の強化(2) ～ 工場の生産性向上

1. 機械能力の向上

1. 老朽化機械更新による生産性アップ
 - スクリュー・押し出機・引取機・切断機等の入れ替え
 - 職人的スキルが必要な機械を、簡易操作機械へ入れ替え
2. 自動化・省人化設備の導入
 - 仕上工程(ケーブルの巻き取り・包装工程)での自動化等
3. 予防保全の強化・効率化(機械停止期間・点検時間の削減)
 - 機械故障が発生するごとに定期点検内容を見直す
 - 定期点検のマニュアルを作成し、点検時間の短縮を図る

2. 工程の見直し

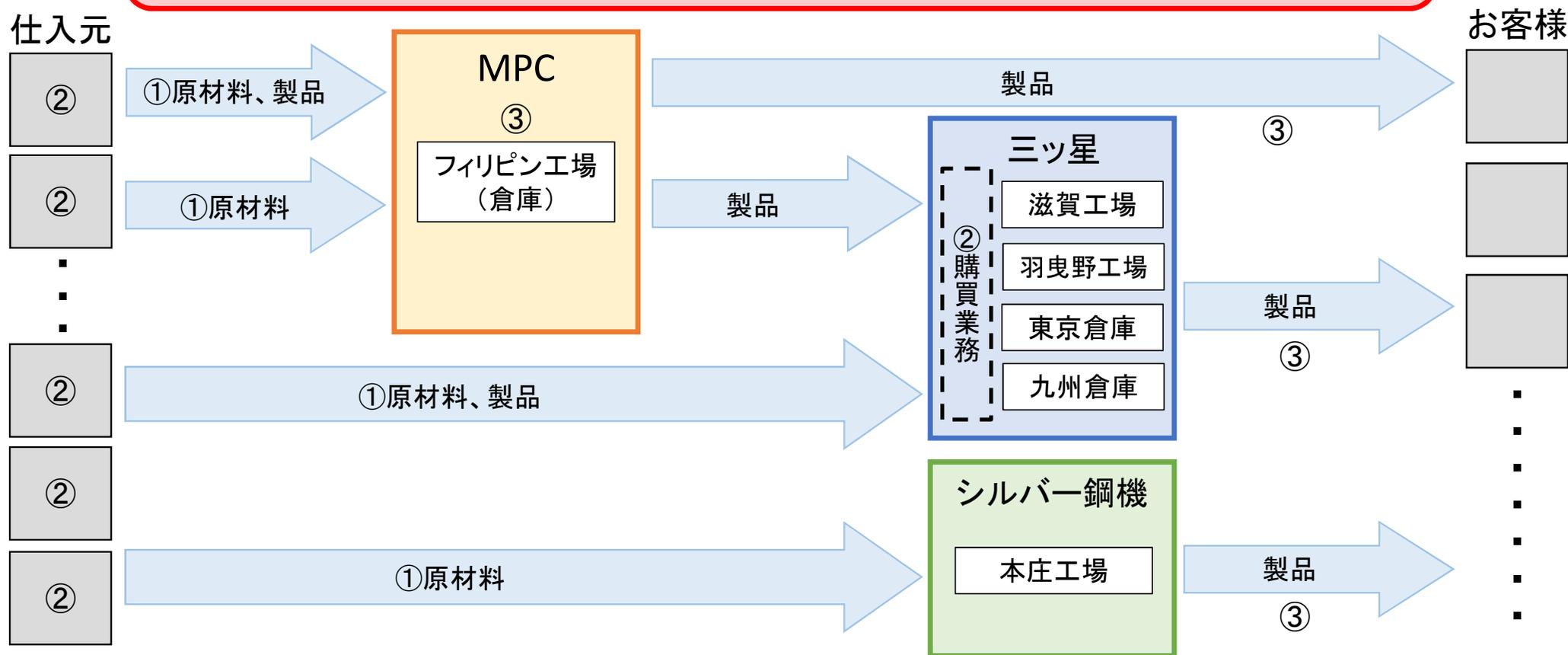
1. 加工線速、高速化によるコスト削減、生産効率向上
2. 非効率製品の製造ラインの外注化
3. 同一(類似)製造工程のパーツをまとめ生産することで段取作業を効率化

3. 人の見直し

1. 多能工化による生産の安定化
 - 計画立てたジョブローテーション運営
 - 教育体制の整備
2. 定期的な雇用確保による技能継承

2. 生産力の強化(3)～原材料・サプライチェーンの見直しによるコストダウン

- ① 原材料の見直し ～ 高品質、低コストへ
- ② 購買業務の見直し ～ 仕入元、取引条件の見直し
- ③ 物流の見直し ～ 物流ルート、保管場所の見直し



3. ESGを中核に据えた新分野展開(1)～環境(Environment)



Environment (環境)

気候変動問題

地球温暖化
森林破壊



課題

脱炭素社会実現のための再生可能
エネルギーの活用
EV化の推進

風水害・地震の頻発
海面上昇



防災・災害復旧工事への対応、
堤防・岸壁のかさ上げ工事

漁業・農業への悪影響



技術革新による生産性向上

今後成長が見込まれる分野

A 脱炭素分野

B 防災・災害分野

C 漁業・農業分野

資源枯渇・廃棄物問題

原材料の不足



課題

省資源化できる製品の開発

プラスチック汚染



廃棄素材の再利用
バイオマスプラスチックの活用



環境分野の目標

単位生産量当りのエネルギー使用量の低減 ⇒ 1%/年の削減

3. ESGを中核に据えた新分野展開(2) ~ 社会(Social)

Social (社会)



少子高齢化問題

労働人口減少



課題

製造の自動化・ロボット化

国内マーケット減少



海外マーケット開拓

インフラ老朽化問題

設備の老朽化



課題

メンテナンス工事

サプライチェーン安定化問題

原材料調達の困難化
物流の混乱



課題

材料仕入れ元の複線化
生産拠点の複線化

今後成長が見込まれる分野

D ロボット(産業・工
作機械)分野

グローバル化

E メンテナンス分野

社会分野の目標

海外向け売上高比率 ⇒ 13%



3. ESGを中核に据えた新分野展開(3)～ガバナンス(Governance)



Governance (ガバナンス)

経営の透明性

社外取締役の活用

指名・報酬諮問委員会

情報開示



多様性の導入

女性の活躍推進

グローバル人材

社員総代会



無形資産の活用

知的財産(特許等)の充実

「ヒト(従業員)」を大切に経営

リスク管理

内部統制の強化 法令の遵守

品質管理の徹底

ガバナンス分野の目標

女性、外国人、中途採用者の中核人材(管理職等)への起用

⇒ 81期末で10%

3. ESGを中核に据えた新分野展開(4)～成長の柱(その1)

A: 脱炭素の柱

① 洋上風力発電ビジネス

- ・海底ケーブル埋設機用ケーブル
- ・リフトの昇降装置ケーブル
- ・設置工事で用いる建機ケーブル

② 環境に配慮したエネルギービジネス

- ・水上太陽光発電でのフロートケーブル活用
- ・バイオマス・地熱・潮力・波力発電分野等の検討

③ 電気自動車業界

- ・車載ヒーターの電熱線(カーシート用途)
- ・EV車載用抵抗器

B: 防災・災害の柱

④ 港湾・河川関連の工事案件

- イ. 大雨・洪水の災害復旧工事
 - ・水中バックホウ、水中ポンプ等の建設機械用ケーブル
- ロ. 地震対策工事
 - ・インフラの耐震工事、老朽化したダム of 補強工事で使う建設機械用ケーブル
- ハ. 津波対策
 - ・温暖化による海面上昇対策としての防波堤・防潮堤の設置工事で使う建設機械用ケーブル

C: 漁業・農業の柱

⑤ 漁業関連ビジネス

- イ. 烏賊釣漁船水中灯ケーブル
- ロ. 養殖関連ビジネス
 - ・漁網掃除ロボットケーブル
 - ・養殖場の照明機器ケーブル
- ハ. 海洋汚染問題対応
 - ・軽石問題対策への対応
 - ・水中生物繁殖問題への対応

⑥ 農業関連ビジネス

- ・農業用ヒーターでの電熱線利用

3. ESGを中核に据えた新分野展開(5)～成長の柱(その2)

D: ロボット(産業・工作機械)の柱

⑦ 設計時点でのスペックイン

イ. ケーブル領域

- ・ロボットの駆動部分のケーブル
- ・溶接ロボット用ケーブルの拡販

ロ. 抵抗器領域

- ・各種ロボットに搭載される抵抗器で使用される抵抗線

E: メンテナンスの柱

⑧ エレベーター対応

- ・老朽化したエレベーターのメンテナンス対応

⑨ インフラ対応

- ・老朽化した道路、下水道、ダム、トンネル、橋梁等のメンテナンス工事で使う建設機械用ケーブル
- ・管更正工事でのポリマ製品利用

⑩ 高所関連案件

- ・仮設エレベーター用、タワークレーン用、立体駐車場用ケーブルを用いる構造物建築・メンテナンス案件対応

グローバル展開

販路開拓

- ・電線の販路・営業体制を活用し、ポリマテック・電熱線の販路を開拓
- ・現地企業とのアライアンス

海外拠点展開

- ・MPC生産設備の拡充
取扱製品拡張にあわせて
生産体制拡充

4. グローバル展開(1) ~ 電線

東南アジア・中国へ

港湾土木・河川工事分野等

自動車関連分野等

ビルメンテナンス分野等

③ リピート客の徹底フォロー

日系企業に加え
地場企業へ積極的な展開

① フィリピンでの成功事例を水平展開

電気自動車
品種：2PNCT



柔らかく(曲げ半径が小さく)コンパクトに収まる

発電機 (世界的イベントの会場)
品種：2PNCT

プロテクタ

ケーブル



柔らかく取扱いやすいケーブルとプロテクタを一体販売

② 日本で開発した製品を海外展開

水回り関連 (港湾土木)
品種：2PNCT/3PNCT
フロートケーブル



お客様のニーズに応えた新製品

高所関連 (仮設エレベーター)
品種：ウイトバランス式
仮設用エレベーターケーブル



LCP繊維等で強化されたケーブル

4. グローバル展開(2)～ポリマ・電熱線

東南アジア・中国へ

自動車関連分野等

住宅関連分野等

インフラメンテナンス分野等

付加価値の高い製品を求める
日系企業へ積極的な展開

①フィリピンでの成功事例を
水平展開



お客様の要望に応え、短納期で
金型作成から製品開発へ

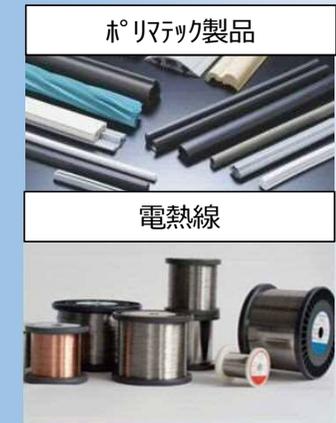
②MPCをアジア展開
の拠点に



早期のレスポンス、
きめ細やかな営業対応、
安心したメンテナンス体制

③日本で蓄積した技術を海外展開

顧客ニーズ収集
↓
製品改良
↓
機能性向上
↓
提案



お客様のニーズを製品開発・機能改善に反映
すること繰り返し、磨き続けてきた技術力

5. 競争力のある製品の投入(電線)

集魚灯での活用



水中灯

VCT

- ◆ 東アジアの集魚灯マーケットで高いシェアを有する
- ◆ 過酷な環境下での使用に耐える強さ、耐久性を有するケーブル

水中溶接での活用



水中溶接作業の様子

フロートケーブル

- ◆ 水中工事で幅広く利用できる水に浮くケーブル。
(海底を引きずらないので、摩耗・切断を防げる)
- ◆ お客様の声に応じて開発した新製品

水中バックホウでの活用



2PNCT

- ◆ お客様のご要望に合わせ、何度も機能改善を繰り返し付加価値の高いケーブル
(当社の経験と技術力が蓄積)
- ◆ 水中バックホウ用ケーブルとして圧倒的シェアを誇る

洋上風力発電での活用

2PNCT



リフトの昇降装置

- ◆ くせがつきにくい

3PNCT



海底ケーブル埋設機

- ◆ 過酷な環境下でも耐えうる強さ